

小学校第5学年 国語科 学習指導案

授業者 山口 眞希

1 学年・教科

第5学年・国語科

2 単元名

すいせんします（光村図書）

3 単元の目標（話す・聞く）

- ・ 目的や条件に照らして、推薦する内容を考えることができる。
- ・ 収集した情報を整理・選択・分析し、推薦する理由として考えをまとめることができる。
- ・ 聞き手が納得できるように話の構成を工夫し、資料を提示しながら推薦することができる。

4 情報活用能力育成をめざした授業の視点

特別活動や日常生活の様々な場面で、事物を推薦することは多々あることである。事物を推薦し、相手に考えを受け入れてもらうためには、

- ・ その事物の内容
- ・ 他と比べて優れていること
- ・ それを選ぶことでどんな効果が期待できるか など説明する必要がある。

根拠を持って相手を説得するためには、まず目的・条件を理解し、それらに合致した推薦内容を考えなければならない。そして、より説得力を持たせるためにその事物にまつわる情報を収集・選択・関連付けて推薦する理由とする必要がある。さらに、提示する資料や伝え方を吟味することが大切であり、これらの活動を通して情報活用能力の育成が期待できる。

また、ICT活用することで事物を推薦する根拠となる情報を効率よく収集することができるとともに、グラフ、写真、動画など表現方法の選択肢も増える。今回は情報の収集から伝達・共有までオールインワンで行うことができるタブレット端末を活用する。

5 コミュニケーションツールの活用

- ・ タブレット端末の活用

推薦する根拠となる情報や、提示する資料の収集をするためにタブレット端末を活用する。ICTを活用することで、豊かな情報を触れることができる。インターネットでの情報収集は情報過多になる可能性もあるが、その場合にこそ検索の方法、情報の信憑性について検討すること、著作権などについて児童生徒とともに考えることで情報活用能力が身につくと捉える。本来の授業であれば、図書資料やまわりの人へのインタビューも情報収集の方法として採用すると、多くの収集手段について学ぶことができるのでよい。

また、他の人に自分たちの推薦内容を説明する時にもタブレット端末を活用する。写真、動画、グラフなど、収集した情報を活用することができ、表現方法も多様になる。自分たちの伝えたいことが伝わるようにするには、どの表現方法が適切か、判断する力や表現する力の育成にもつながると考える。

6. 本時の展開 (単元全体を1時間に縮めて実施します)

・ねらい 推薦する理由を明確にし、話の構成や伝え方を工夫しながら推薦することができる

学習活動	学習内容	留意点
1 本時のめあてをつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに事物をすいせんした経験について話し合う ・日常よく行う「すいせん」について、より説得力のある推薦の仕方を学習すること、何について推薦するかを知る <p style="text-align: center;"><令和時代に必要な「新教科」をすいせんしよう></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目的、意義を児童と共有する
2 推薦する新教科を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・新教科設立の条件を知る 膨大なお金がかからない 将来自分や社会の役に立つ 教える人がいる、呼べる 年間通して活動できる・・・ ・令和時代を生きる子どもたちにとって必要な力について考える ・条件や今必要な力をふまえ、推薦する新教科を決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とともに考える とよい ・ICTを使って意見表明することで、多様な意見を同時に知れるようにする
3 推薦する理由をはっきりさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ教科を選んだグループの人と話し合う ・「教科の内容」と「なぜその教科を推薦するのか」を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードやシンキングツールを活用して、「これぞ!」という理由を3つまでに絞る
4 プレゼンの準備をする	<ul style="list-style-type: none"> ○説明するためのスライドをタブレット端末で制作する ・スライドは「1 推薦する教科名」「2 教科の内容」「3 推薦する理由」という構成を基本とし、5枚以内とする ・説得力を持たせるために必要な資料があれば Web で検索して挿入する ・話し方の工夫について、考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・より説得力を持たせるためにどうしたらよいか考えられるようにする
5 スライドを提示しながら推薦する	<ul style="list-style-type: none"> ○互いにタブレット端末を見せながら推薦しあう ○全体で交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ・納得したスピーチを取り上げ全体に広める
6 学習をふりかえり、まとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相手を説得する推薦スピーチをするには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的・条件に合った推薦内容を考える ・推薦する理由を明確にする ・見せる資料や伝え方を工夫することが大切だ。 </div>	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦する理由を明確にし、表現方法を工夫して推薦することができる(話す聞く)